

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	種別	基準
1	鉛温泉藤三(ふじさん)旅館本館	岩手県花巻市	S16／S39増築	鉛温泉に位置する旅館の本館と浴室棟。本館は豊沢川沿いに建つ木造3階建てで南面東寄りに玄関を突出し、上部を楼閣風につくる。川に面した3階建旅館が温泉地の風情を伝える。白猿の湯は石段で地階の浴場に至り、中央に岩盤を削抜いた大浴槽を配する。上部を吹抜とした開放的な浴室棟。	建築物	産業3次	1
2	鉛温泉藤三旅館白猿(しろさる)の湯		S前期／H16改修		建築物	産業3次	2
3	阿部家住宅(遠入(とおいり))主屋	宮城県石巻市	M39／S35・H8・同24改修	市街地北西の農村集落の最上段にある旧家の屋敷。中央に南面して建つ主屋の周囲に東土蔵、米蔵、板倉、石蔵、文庫蔵、敷地南面中央に長屋門、敷地東側の高台に氏神社と石鳥居を配する。主屋は軸部を五平柱を用い、成の高い長押を打ち、透漆塗で仕上げる。スレート葺の豪壮な主屋で、地域性をよく示す近代和風住宅。東土蔵は家財蔵で置屋根形式のスレート葺。正面戸口に掛子塗戸を開き、下屋を付す。粘板岩の一丁材を用いた下屋柱が目惹く。米蔵は置屋根形式のスレート葺、正面下屋に軒唐破風状の起りを付す。内部は側廻りに柱を密に立てた堅牢なつくりで、外観重厚。板倉は枳蔵で、屋根は置屋根形式の鉄板葺、正面西寄りに戸口を開け腕木庇を付す。置屋根の面戸板を彫刻で飾るなど丁寧なつくり。石蔵は農具などの収納蔵。置屋根形式のスレート葺で正面に下屋を付す。外壁はモルタル洗出仕上で、石蔵と呼ばれる重厚な外観。文庫蔵は屋根スレート葺で、正面に腕木庇を付す。庇の鉄製ブラケットや腰を廻る二段の水切など、小規模ながら凝った意匠。長屋門は屋根スレート葺で外壁は下見板張。旧家の格式ある屋敷構えをつくる。氏神社は切妻造鉄板葺で背面に突出部に二間社流造スレート葺の宮殿を安置する。全体に簡素なつくりながらも、敷地景観をつくる。石鳥居は氏神社に至る石段の中腹に建つ明神鳥居。全体に丁寧なつくりとし、敷地東方の歴史的な景観を形成する。	建築物	住宅	2
4	阿部家住宅(遠入)東土蔵		慶応3(1867)／T前期・S後期改修		建築物	住宅	1
5	阿部家住宅(遠入)米蔵		M22／T前期改修		建築物	住宅	1
6	阿部家住宅(遠入)板倉		M11／T前期・R3改修		建築物	住宅	1
7	阿部家住宅(遠入)石蔵		S8		建築物	住宅	1
8	阿部家住宅(遠入)文庫蔵		S前期		建築物	住宅	1
9	阿部家住宅(遠入)長屋門		M後期／T前期改修		建築物	住宅	1
10	阿部家住宅(遠入)氏神社		S36		建築物	住宅	1
11	阿部家住宅(遠入)石鳥居		T2		工作物	住宅	1
12	旧石巻市大街道(おおかいどう)浄水場事務所		S5頃／S54改修、R6移築		建築物	生活関連	2
13	久須師神社拝殿(旧薬師堂)	秋田県横手市	文久2(1862)／M11・同29・S34改修	長面浦北岸にある神社の拝殿で旧薬師堂。入母屋造スレート葺で正面に1間向拝を付し、三方に擬宝珠高欄付縁を廻らし、向拝柱の地紋彫など要所を彫刻で飾る。スレート葺屋根の希少な拝殿。	建築物	宗教	2
14	旧薄葉家住宅主屋		M前期／S18頃増築、R6改修	旧横手城下の南西部、旧武家町に位置する住宅の主屋。南庭に面して2室の座敷を配するなど、当地の武家住宅の平面形式を踏襲する。天井高く、採光のための高窓など雪国らしい近代和風住宅。	建築物	住宅	1
15	大潟村公民館		S44	大潟村の中心部に位置する公民館。2階建東西棟の西側に6階建展望塔を渡廊下で接続する。計画都市の軸線上に建つ公民館で、地域のランドマーク的存在。	建築物	文化福祉	1
16	下邑家住宅主屋		E後期／M後期増築、改修、S57・H24改修	市街地東部の農村集落に位置する旧家の屋敷。主屋の周囲に米蔵、北蔵、南蔵、敷地西側に長屋門、外便所、塀を配する。主屋は南面東端に式台玄関を設け、座敷は付書院の障子や欄間に繊細な組子を用いる。広い式台玄関など格式を備えた大規模な主屋。米蔵は半間毎に通し柱を立て、小屋組は束を用いず梁を密に組み上げる。長大なマツの一丁材の下屋根など豪壮なつくり。北蔵はかつて質草を保管した蔵。西妻に鏝絵で屋号を掲げ丁寧なつくりの土蔵。南蔵は道具蔵で関東大震災後の再建と伝え、簡素なつくりながらも旧家の屋敷構えを伝える倉庫。長屋門は正面軒をせがみ造とし、門口廻りにケヤキ材を用いた重厚なつくり。外便所は、内部は中央部に大便所など並べ、両端室は土間の物置とする。旧家の生活の様相を伝える桁行長大な便所棟。塀は長屋門の両脇に延び、屋敷正面の重厚な歴史的な景観を形成する。	建築物	住宅	2
17	下邑家住宅米蔵		T10頃		建築物	住宅	2
18	下邑家住宅北蔵		M中期		建築物	住宅	1
19	下邑家住宅南蔵		T13頃／S後期改修		建築物	住宅	1
20	下邑家住宅長屋門		M前期		建築物	住宅	1
21	下邑家住宅外便所		M40／S57改修		建築物	住宅	1
22	下邑家住宅塀		M前期		工作物	住宅	1
23	林泉寺本堂	埼玉県越谷市	寛宝元(1673)頃／寛保2(1742)頃・文政8(1825)頃・S45改修	市街地北東に位置する浄土宗寺院。境内東寄りに西面して建つ本堂の西方に子安観音堂、南西に鐘楼堂、境内西方に地藏堂、表門、脇門を配する。本堂は内陣に禅宗様須弥壇を配し、格天井に草花の彩色画を華やかに飾る。境内景観の中核をなす。子安観音堂は入母屋造棧瓦葺で銅板葺の一間向拝を切下げて付し、四周に縁を廻す。全体に当初形式を良く残す小堂。鐘楼堂は絵様肘木に三斗組を重ねた特徴的な形式の組物とする。落着いた外観で境内景観をつくる。地藏堂は宝形造棧瓦葺で、柱間は正面中央間を広くし、三方に縁を廻らす。軸部は角柱で桁を直接支え、軒は一軒繁垂木。全体に質実なつくりで、寺観を整える小堂。表門は四脚門で、棟通りに扇に日の丸をあしらった龕股を飾るなど見所とする。全体を朱塗とし、地域が赤門と呼び親しむ。脇門は薬医門で小規模ながら境内南西の景観をつくり、地域が黒門と呼び親しむ。	建築物	宗教	2
24	林泉寺子安観音堂		宝暦12(1762)／S51改修		建築物	宗教	1
25	林泉寺鐘楼堂		延享5(1748)		工作物	宗教	1
26	林泉寺地藏堂		E後期／S51改修		建築物	宗教	1
27	林泉寺表門(赤門)		宝暦6(1756)		工作物	宗教	1
28	林泉寺脇門(黒門)		E末期		工作物	宗教	1
29	旧茂木佐平治家住宅金宝殿(きんぼうでん)本社	千葉県野田市	T3	茂木佐(もぎさ)公園に隣接する旧醤油醸造家の屋敷社と手水舎。本社は向拝柱を亀甲形の六角柱として龍彫刻を施し、木鼻、龕股、羽目板など内外を彫刻で濃密に飾る。手水舎は切妻屋根は照り起りの唐破風形とし、柱を内転びに立て龍彫刻を飾る。彫刻濃密な近代和風建築で、天井に掲げた雷神の高浮彫が圧巻。	建築物	宗教	2
30	旧茂木佐平治家住宅金宝殿手水舎		T3		工作物	宗教	2
31	よろこび寮会堂		T15／H17頃改修	茂木佐公園の西に位置する仏教修養団体の会堂と表門。会堂は全体矩折の平面で床廻りに銘木を用いた瀟洒なつくり。表門は腕木門で、板欄間は中央を透かして門灯を設け、袖塀は欄間に丸竹を渡し、笠木を載せるなど全体に繊細なつくり。	建築物	宗教	2
32	よろこび寮表門		T15頃／S中期改修		工作物	宗教	2
33	旧遊楽園(茂木佐公園)塔		T15	醤油醸造家が地域に開放した児童公園の中央に立つ塔。街灯兼時計塔がかつて基部四面に水栓と流しを備えた。公園開設とともに野田における電力と水道の供給を示す塔。	工作物	生活関連	1
34	十四世喜多六平太記念能楽堂	東京都品川区	S48／R7改修	目黒駅付近に位置し、喜多流十四世宗家を記念した常設能楽堂。設計は榛沢敏郎。主体部外観は地上より持上げて軽快にみせ、御影石張の階段やトラバーチン貼の壁面が入口アプローチを巧みに構成。	建築物	文化福祉	2
35	樫尾俊雄発明記念館(旧樫尾家住宅主屋)	東京都世田谷区	S47／H25改修	国分寺線緑の上に建つ発明家樫尾俊雄の旧宅。設計は滝沢健児。切妻の屋根は起り付とし、妻面を正・背面とも大きく張出す軽快な意匠。屋根に独自の作風を示す滝沢の秀作。	建築物	住宅	2
36	国際基督教大学本館	東京都三鷹市	S19／S28増築、同56・H15改修	旧中島飛行機三鷹研究所設計本館を戦後に転用した大学校舎。中央5スパンを4階建に増築し、正面性を強調。ヴォーリズ事務所改修による端正な外観の校舎。	建築物	学校	2

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	種別	基準
37	日野市立中央図書館	東京都日野市	S48／R元改修	豊田駅南方に位置する市立の中央図書館。選書の快適さを重視し、開架室は吹抜の庭側を全面ガラス窓とするなど、初代館長前川恒雄の構想を建築家鬼頭梓が具現化し、現代公共図書館の起点となった建築。	建築物	文化福祉	2
38	旧金石(かないわ)警察署庁舎	石川県金沢市	S3／S後期改修	港町で栄えた金石に位置する旧警察署。玄関両脇に立つ柱は底上部まで柱頭を突き出し、上部に3連の縦長窓を開ける。セセッション風意匠の外観で地域景観の核となる旧警察署。現在は地元のイベント等に利用。	建築物	官公庁舎	1
39	清水家住宅主屋	福井県鯖江市	慶応元(1865)／S53改修	市街地の北部、旧北陸道に面する旧家の主屋と東門。主屋は東半は踏込土間と囲炉裏のあるイタノマで、上部に梁組を現し、西半は4室を並べる。当地の伝統的な間取をよく残す民家。東門は通りより引込み建つ腕木門で、主柱はクリ材で笏谷石の棟石を据え、旧家の正面構えを整える。	建築物	住宅	2
40	清水家住宅東門		E末期		工作物	住宅	1
41	山梨中央銀行(旧名取家住宅)茶室水月	山梨県甲府市	S31／H7移築	甲府城下に位置する旧実業家の茶室。4畳半の北面に床を設け、細竹を棹とする棹縁天井張で南面は欄口を開き、掛込天井とする。良材を用いた上質なつくりの茶室。現在は地域の児童用茶会などに活用。	建築物	住宅	2
42	秋山家住宅(菊谷坊)主屋	山梨県富士吉田市	E末期／T9頃改修	上吉田の南東部に位置する御師住宅の主屋と板蔵。主屋は西面中央に式台玄関を設け、南西に続き間座敷を配す。御神前など御師住宅の様相を伝える。板蔵は道具蔵で北と東に下屋を付し、北は物置、東は戸前とする。主屋とともに御師住宅の景観をつくる。現在は宿泊施設として活用。	建築物	住宅	2
43	秋山家住宅(菊谷坊)板蔵		M41／S中期増築		建築物	住宅	1
44	旧上田家住宅主屋	山梨県南アルプス市	M前期／S46・R5改修	市街地西方の山麓の敷地に南面して建つ農家の主屋と土蔵。主屋は右土間形式で前後2列に8畳3室を並べ、前列上手の座敷は長押を廻らし床と付書院を設える。当地の伝統的な民家形式の発展を伝える大型住宅。土蔵は1階東面中央の戸口に漆喰塗の鳥居枠をつくり、2階南妻に窓を開く。集落景観に寄与する土蔵。現在は飲食店として活用。	建築物	住宅	1
45	旧上田家住宅土蔵		M26		建築物	住宅	1
46	願氣(いけ)神社本殿	長野県長野市	文政3(1820)	松代城跡北方に位置する神社。南北に長い敷地の奥に本殿が建ち、前方に拝殿及び祝詞殿、西側覆屋内の菅原社、東側に宝蔵庫を配する。本殿は総ケヤキの間社流造で、動植物や雲紋などの華やかな彫刻が目惹く。地元大工による上質な神社本殿。拝殿及び祝詞殿は横長で大型の向拝付拝殿の背面に祝詞殿を突出する。拝殿は三方を吹放ち小屋組を現す。当社の歴史を伝える中心的社殿。菅原社は総ケヤキの間社流造板葺で庇の虹梁形頭貫上部に波に鶴の彫刻を横溢する。覆屋内で保存が良く、豊かな装飾を施した小社。宝蔵庫は祭礼道具の収納蔵。建ちが高く、外壁はモルタル塗で腰や鉢巻に目地切を施すなど、近代的な特徴を示す土蔵。	建築物	宗教	2
47	願氣神社拝殿及び祝詞殿		文政3(1820)／S50代改修		建築物	宗教	1
48	願氣神社菅原社		天保6(1835)		建築物	宗教	2
49	願氣神社宝蔵庫		S7		建築物	宗教	1
50	旧銭湯玉の湯	長野県阿智村	T前期／S中期改修	集落中心部に東面して建つ銭湯。北半は浴場で上下窓を配した洋風の意匠。南半は座敷棟で入母屋造玄関を構えた対照的な外観。山間集落を彩る戦前の銭湯。現在は村が所有し、2階を雑貨展示室として公開活用。	建築物	文化福祉	1
51	衣笠山の家(小林家住宅)主屋	京都府京都市	S39	衣笠山の山麓に位置する住宅主屋と正門。主屋の設計は増田友也。芝庭に面した傾斜地に建つ鉄筋コンクリート造2階建で1階正面はピロティとする。室内は襖・障子・長押など随所に和風の意匠でまとめた増田の代表作。正門は全体に高さを低く抑えた外観が周囲の景観と調和し、主屋へのアプローチを演出する。	建築物	住宅	2
52	衣笠山の家(小林家住宅)正門		S39頃		工作物	住宅	1
53	藤井紋店舗兼主屋	京都府京都市	S8	新町通りに東面して建つ絞染製造卸の店舗兼主屋と土蔵。店舗兼主屋は表屋造の形式で、土間の絞染乾燥室など生業を示し、2階の主座敷は端正なつくり。豪壮な袖壁が目惹く近代の町家。土蔵は家財蔵で、戸口は外に鉄製両開戸、内に鉄製引戸を建てるなど嚴重なつくりの土蔵。	建築物	産業2次	1
54	藤井紋土蔵		S7		建築物	産業2次	2
55	嵯峨野観光鉄道亀山隧道	京都府京都市	M32／S35・同45改修	嵯峨野観光鉄道は、京都市のトロッコ嵯峨野駅トロッコ亀岡市の亀岡駅を結ぶ全長7.3キロメートルのトロッコ列車で、明治32年に京都鉄道が建設、明治40年に国鉄山陰本線となり、平成3年から観光線として使用。土木構造物18件が存在。亀山隧道は東坑門をフランス積とし幅広の壁面に壁柱4本を左右対称に配する。保津峡入口を飾る堂々たる構え。保津川橋梁は大規模な曲弦ワーレントラス橋。保津川本流に架かる本線唯一の橋で保津峡の近代化を物語るランドマーク的存在。清瀬隧道は東坑門に凸形のバラベットを付け、近衛篤磨(あつまろ)揮毫の扁額を飾る。重厚かつ記念碑的な外観。旧鶴飼第一隧道は昭和4年に廃止した旧隧道。西坑門はアーチ部の一部を堅積とし、頂部のデンティルなど、丁寧なつくり。鶴飼第一隧道は昭和4年に築かれたコンクリート造の隧道。中央部の当初部分に新中間型の断面が残り貴重。鶴飼第二隧道は煉瓦造で東・西の坑門は煉瓦積でアーチ部に堅積を用い、頂部に持送形の煉瓦積を施す。小規模ながら独特な意匠。鴎谷橋梁は単線上路式プレートガーダー橋。補剛材を上下でJ形に折曲げる、いわゆるポーナル桁を昭和前期に国の指針に基づき溶接補強した橋梁で、保津峡の歴史的な景観をつくる。	土木	交通	1
56	嵯峨野観光鉄道保津川橋梁		M32／S4改修		土木	交通	1
57	嵯峨野観光鉄道清瀬隧道		M32／S34・同48改修		土木	交通	2
58	嵯峨野観光鉄道旧鶴飼第一隧道		M32／H元改修		土木	交通	1
59	嵯峨野観光鉄道鶴飼第一隧道		S4／S27・同34増築		土木	交通	1
60	嵯峨野観光鉄道鶴飼第二隧道		M32		土木	交通	1
61	嵯峨野観光鉄道鴎谷(かもめだに)橋梁		M32／S11・同27改修、同34増築		土木	交通	1
62	嵯峨野観光鉄道鶴飼第三隧道		M32		土木	交通	1
63	嵯峨野観光鉄道第五二号橋梁		M後期／S27移築・同41増築		土木	交通	1
64	嵯峨野観光鉄道朝日隧道		M32／S44・同47改修		土木	交通	1
65	嵯峨野観光鉄道池ヶ谷(いけがたに)橋梁	京都府亀岡市	M32／S11改修、同44増築	嵯峨省が確立した下フランジ舟形補強を施した貴重な橋梁。地蔵第二隧道は保津峡出口にある西坑門に扁額枠と鋸歯状の帯で飾り意匠を凝らす。巖谷橋梁は単線上路式プレートガーダー橋。ポーナル桁に下フランジ舟形補強や山形鋼、溝形鋼の補強を電気溶接で施すなど貴重。阪谷橋梁は単線上路式プレートガーダー橋。ポーナル桁で上下フランジ、対傾構に補強を施し、戦前期の輸送力増強の歴史を伝える。山本避溢橋梁は単線上路式プレートガーダー橋で鶴ノ川の氾濫に備えた避溢用水路に架かる。自然災害を未然に防ぐ鉄道システムの遺構。番外六号橋梁は煉瓦造2連アーチ橋。かつて鶴ノ川の氾濫に備えた避溢橋として防災機能を兼ねた橋梁。	土木	交通	1
66	嵯峨野観光鉄道地蔵第一隧道		M32		土木	交通	1
67	嵯峨野観光鉄道かがらす谷橋梁		M32／S11改修、同44増築		土木	交通	1
68	嵯峨野観光鉄道地蔵第二隧道		M32／S35・同45改修		土木	交通	1
69	嵯峨野観光鉄道巖谷(いわおだに)橋梁		M32／S11改修、同41増築		土木	交通	1
70	嵯峨野観光鉄道阪部谷(さかべだに)橋梁		M32／S11改修、同43増築		土木	交通	1
71	嵯峨野観光鉄道山本避溢(ひいつ)橋梁		M32／S11改修、同44増築		土木	交通	1
72	嵯峨野観光鉄道番外六号橋梁		M32／S後期改修		土木	交通	1

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	種別	基準
73	伊東家住宅主屋	京都府京田辺市	T10／H11改修	市街地南西の山間に位置する旧家の屋敷。敷地中央に南面して建つ主屋の北に一ノ蔵、二ノ蔵、三ノ蔵、南東に四ノ蔵、敷地正面に長屋門、露地庭の西辺に露地門及び土塀を配する。主屋は平屋建入母屋造で正背面に下屋を付し、南東に便所棟を附属。前身主屋の古材を用いて再建し、式台など旧家の格式備えた主屋。一ノ蔵は農具などの収納蔵。平屋建切妻造、置屋根形式の棧瓦葺。敷地北辺の景観をつくる。二ノ蔵は旧家財蔵。2階建切妻造で小屋組は曲がり梁を用いた折置組で古風な形式。戸口の庇も塗込め重厚な構え。三ノ蔵は家財蔵。2階建切妻造で、外壁は漆喰塗で床下を透かし、腰は焼杉板張。土蔵が並び建つ敷地北辺の1角を占める。四ノ蔵は旧米蔵。平屋建切妻造で露地庭の南東に建ち1つの点景を与える存在。長屋門は平屋建切妻造。前身建物の古材を用いて再建し、旧家の屋敷規模に相応しい構えを持つ。露地門は、全体に数寄屋風の意匠でまとめ、目板瓦葺の土塀とともに主屋の正面構えを整える。	建築物	住宅	2
74	伊東家住宅一ノ蔵		E後期		建築物	住宅	1
75	伊東家住宅二ノ蔵		E後期／H22改修		建築物	住宅	1
76	伊東家住宅三ノ蔵		M中期		建築物	住宅	1
77	伊東家住宅四ノ蔵		E後期／H4改修		建築物	住宅	1
78	伊東家住宅長屋門		T後期		建築物	住宅	1
79	伊東家住宅露地門及び土塀		S中期		工作物	住宅	1
80	旧河村家住宅(芸術寺院自然寺)主屋	京都府南丹市	M前期	大堰川沿いの農村集落にある旧家の主屋と長屋門。主屋は座敷の床廻りに銘木を用い格式を示す。当地域の大規模農家建築の典型を示す民家。長屋門は中央の門口にケヤキ1枚板の扉を吊る。主屋とともに当地域の集落景観を形成する。現在は仏道修行道場や芸術家の交流拠点として使用。	建築物	住宅	1
81	旧河村家住宅(芸術寺院自然寺)長屋門		M前期／H17改修		建築物	住宅	1
82	旧神田家住宅主屋	京都府南丹市	M14／R4改修	周山街道沿いに位置する旧家の主屋。西に土間、東に居室を配し、土間沿いの18畳上部は、縦横に梁を組み天井を張る。茅葺屋根が地域の景観をつくる大規模な民家。現在は宿泊施設として活用。	建築物	住宅	1
83	中谷家住宅主屋	大阪府大阪市	T15／S33増築、同52改修	熊野大神宮北方の住宅地に位置する和風住宅の屋敷。主屋の周囲に茶室、亥大蔵、辰巳蔵、敷地南面に高塀と東寄りに門を開ける。主屋は敷地中央に南面して建ち、東に洋館、西に隠居棟及び便所棟を接続する。座敷は、床脇や縁板にケヤキの1枚板を用いるなど材料吟味した上質。茶室は床柱に捻れのある変木を用い、円弧状の狹潜など自由な意匠。戌亥大蔵は家財蔵で、戸口に鉄製両開戸を建てた重厚なつくりで桁行長大な土蔵。辰巳蔵は家財蔵。主屋へ至る通路脇に建ち、金庫風の鉄製扉が重厚な姿。門は通りより引き込み、門口に瓦葺軒先銅板葺の腕木庇を付し、引違の格子戸を建てる。瀟洒なつくりの門及び塀で、通りに面し歴史的な景観をつくる。	建築物	住宅	2
84	中谷家住宅茶室		S3／S9・同25改修		建築物	住宅	2
85	中谷家住宅戌亥大蔵		T14		建築物	住宅	1
86	中谷家住宅辰巳蔵		S3／S9・同25改修		建築物	住宅	1
87	中谷家住宅門及び塀		S4頃		工作物	住宅	1
88	和泉市久保惣記念美術館茶室西蔵		S12		建築物	住宅	1
89	和泉市久保惣記念美術館茶室東蔵		S12		建築物	住宅	1
90	和泉市久保惣記念美術館茶室北板塀	大阪府箕面市	S12	東洋古美術を中心とした市立美術館。既登録の茶室群の北西に西蔵、東蔵、北板塀、正門と外腰掛待合の間に露地門、敷地西辺の南端部に西門、敷地南辺に南塀が位置する。西蔵と東蔵は茶道具の収納蔵。西蔵は各階板敷の1室で収納用の棚を設え、戸口に鉄扉を吊り、重厚な外観。東蔵は戸口の欄に波に兎の鍔絵を飾り、波濤文を彫った持送で庇を支持する。西蔵と並び建ち、歴史的な景観を形成する。北板塀は西蔵及び東蔵が位置する区画を仕切り、壁面は杉皮張で竹押縁で留め、欄間は丸竹を横に渡し、屋根に雁振瓦を載せる。茶室群の奥に位置する佇びた風情の塀。露地門は塀に下屋を付した特徴的な平面で、表千家の露地門に通じる形式とした門。西門は石段上に乗った腕木門で、門口に吊る両開きの板戸は、両面をなぐり仕上とした丁寧なつくり。簡素ながらも瀟洒な外観で敷地西辺の景観をつくる。南塀は切石積の基礎に建つ煉瓦塀で屋根棧瓦葺とする。敷地南辺に延びる瀟洒なつくりの塀で、広大な庭園と一体で歴史的景観を形成する。	工作物	住宅	1
91	和泉市久保惣記念美術館茶室露地門		S12／S56改修		工作物	住宅	1
92	和泉市久保惣記念美術館茶室西門		S12		工作物	住宅	1
93	和泉市久保惣記念美術館茶室南塀		S12		工作物	住宅	1
94	高橋家住宅書斎及び渡り廊下		T8頃		建築物	住宅	2
95	田中家住宅主屋	大阪府四條畷市	M19／S45頃・同60頃改修	清滝峠付近に位置する農家の屋敷。石垣で造成した敷地の中央に南面して主屋が建ち、北西に内蔵と離れが接続し、敷地南辺東寄りに巽蔵、庭入口に中門を配す。主屋は入母屋造の東西棟で周囲に下屋を廻らす。東は土間、西は前後2列に3室を配し、座敷と納戸境に廊下状の部屋を設ける。大規模民家で屋敷構えとともに農村集落の歴史を伝える。乾蔵は内蔵で2階建、置屋根形式の棧瓦葺。妻に屋号を掲げ、集落の歴史的な景観を形成する。離れは西側は2室続きの座敷、東側は1室の土間で納屋とする。乾蔵と一体となって敷地北東の景観をつくる。巽蔵は米蔵で、2階建置屋根形式の本瓦葺で北に下屋を付す。石垣上に建ち、旧家の屋敷構えをつくる。中門は一間腕木門で北に袖塀を付す。小規模ながら庭の景観をつくり、鯉などを飾る銅製雨樋も目を惹く。	建築物	住宅	1
96	田中家住宅乾蔵		T6／T後期増築		建築物	住宅	1
97	田中家住宅離れ		T6頃／S40代改修		建築物	住宅	1
98	田中家住宅巽蔵		M40／H15改修		建築物	住宅	1
99	田中家住宅中門		M40		工作物	住宅	1
100	旧尾上家住宅(小倉屋)主屋	兵庫県姫路市	寛政7(1795)／T前期・S後期・R6改修	野里街道に西面する旧金物商の主屋。つし2階建で棟高を南北で違え、南棟に煙出を載せる。3箇所虫籠窓(むしこまど)を開け、建ちの低い表構えが近世姫路城下町の様相を伝える貴重な町家。	建築物	産業3次	2
101	稲見酒造店舗兼主屋	兵庫県三木市	S4頃	湯の山街道に南面して建つ造酒屋の屋敷。店舗兼主屋の周囲に土蔵、熟成蔵、瓶場兼貯酒庫、煙突を配し、敷地東辺を巽塀と黒塀が囲す。主屋は2階建で、外壁は黒漆喰塗で軒まで塗込め、正面隅に鍔絵で飾った持送を付す。間口長大で重厚な外観が、地域の歴史的景観の核となる町家。土蔵は内蔵で、2階の各窓庇の持送で鍔絵で飾るなど外観華やか。熟成蔵は2階建の東西棟で北半はかつて精米場で上部を吹抜とする。敷地北西の景観をつくる。瓶場兼貯酒庫は生酒の火入や瓶詰作業用の倉庫。2階建の南北棟で西に下屋を付し、北に便所棟を突出する。南面はモルタル洗出仕上とし、石造風の重厚な外観。煙突はかつての米蒸釜用の丸型煙突。上方に向けて窄まる形状で高く聳え、酒造業の象徴的な景観をつくる。巽塀は鉄筋コンクリート造で柱型をみせ、頂部を笠石状につくる。中央部に妻壁風の目隠壁を立上げた独特な外観が、通りの景観に異彩を放つ。黒塀は外側に焼杉板を高く張り、通り沿いに造酒屋の歴史的景観をつくる。	建築物	産業2次	1
102	稲見酒造土蔵		S4頃		建築物	産業2次	1
103	稲見酒造熟成蔵		M中期		建築物	産業2次	1
104	稲見酒造瓶場兼貯酒庫		T後期		建築物	産業2次	1
105	稲見酒造煙突		S41頃		工作物	産業2次	1
106	稲見酒造巽塀		S前期		工作物	産業2次	1
107	稲見酒造黒塀		M中期		工作物	産業2次	1
108	旧斎藤家住宅主屋(千鳥屋宗家薬師山山荘)	兵庫県丹波篠山市	安政3(1856)／H4移築	篠山城下の町人地から移築した旧油商の主屋。つし2階建で正面に大戸と出格子を構え、外壁は漆喰塗仕上で軒まで塗り込める。内外ともに当初形式を良く残す幕末の町家遺構。現在は公開活用を検討中。	建築物	住宅	2

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	種別	基準
109	梶間家住宅主屋	兵庫県宍粟市	M25／S45改修	伊澤町通りに西面する旧造酒屋の屋敷。主屋の東に離れと内蔵、中蔵、東蔵、東方に旧酒蔵、北に隣屋敷主屋と内蔵を配する。主屋はつし2階建て正面下屋を付し、2階は木瓜(もっこう)形の虫籠窓を開け袖壁を付す。間口長大で地域の歴史的景観の核となる町家。離れは渡り廊下で接続する隠居屋。平屋建の東西棟で、南面に土庇を付し、外壁は漆喰塗仕上とする。造作丁寧で庭に面して開放的な外観。内蔵は家財蔵で、小規模ながら戸口に重厚な掛子塗扉を吊るなど丁寧なつくり。西蔵は酒造用具を収納した蔵。2階建て、外壁は漆喰塗で焼杉板を高く張り、正面に戸口と窓を設ける。主屋と並び建ち、通りの歴史的な景観をつくる。中蔵は醤油や味噌などの収納蔵。2階建ての北面に下屋を付し、西寄りに戸口を開く。全体に丁寧なつくりの土蔵で、下屋の木瓜型窓が外観のアクセント。東蔵は衣類や漆器などの収納蔵。2階建ての北面に戸口を開け下屋を付す。戸口欄の端部を反上げ、妻壁の饅頭の屋号など凝ったつくり。旧酒蔵は酒蔵を転用した製材作業場。2階建ての東西棟で南・北面に下屋を付す。1階は作業場とし、小屋組は登梁で梁中間位置を頼杖で支えた特徴的な形式。酒造業の繁栄を伝える。隣屋敷は接客用の屋敷。主屋は2階建て、1階は細格子の出格子構え、2階外壁は黒漆喰塗仕上で袖壁を付す。2階座敷は床間に天袋と連桐、琵琶台を備え、数寄屋風とした瀟洒なつくり。隣屋敷内蔵は家財蔵。戸口に重厚な掛子塗戸を吊り、全体に丁寧なつくり。	建築物	産業2次	1
110	梶間家住宅離れ		S6／H18改修		建築物	産業2次	1
111	梶間家住宅内蔵		M28		建築物	産業2次	2
112	梶間家住宅西蔵		M後期／H10改修		建築物	産業2次	1
113	梶間家住宅中蔵		M前期／H10改修		建築物	産業2次	1
114	梶間家住宅東蔵		M前期		建築物	産業2次	2
115	梶間家住宅旧酒蔵		M31／S24・同38改修		建築物	産業2次	2
116	梶間家住宅隣屋敷主屋	奈良県奈良市	M後期	奈良町に位置する旧呉服商の店舗兼主屋。通りに西面する2階建て外壁は黒漆喰塗で軒を現し、窓周囲に額縁を廻らし、両端部に袖壁を付す。建ちが高く時代相を伝える町家。現在は住居兼ギャラリーとして活用。	建築物	産業2次	2
117	梶間家住宅隣屋敷内蔵		M後期		建築物	産業2次	1
118	旧和田家住宅(松井家住宅)店舗兼主屋	奈良県奈良市	T前期／S24頃・R4改修	奈良宮跡の南西に位置する浄土真宗寺院。境内北西に南面して建つ本堂の東に客殿、南西に宝蔵、鐘楼、境内南辺中央部に集会場、太鼓楼、境内中央に手水舎、境内南辺に山門と小門を開け、境内南西部を南面西塀、西面南塀、西面北塀が画す。本堂は入母屋造本瓦葺で正面に一間向拝を付す。外陣は円柱を立て、差物を縦横に架けて固め、内陣廻りは彫刻や彩色で荘厳を極めた江戸末期の大規模な本堂。客殿は入母屋造妻入本瓦葺で銅板葺の軒唐破風を付し、式台を構える。本堂と並び建ち境内景観を印象づける。宝蔵は土蔵造2階建て頂部に露盤宝珠を飾り、正面に軒唐破風を付す。重厚な外観で寺観を整える。鐘楼は円柱を四方転びに立て、内部は石敷の土間で小組格天井を張り、梵鐘を吊る。墓股や獅子鼻など彫刻優秀な鐘楼。集会場は正面にガラス戸を建て、内部は板敷の1室で棟縁天井を張り、集会室とする。太鼓楼に並び建ち、境内の歴史的景観を形成する。太鼓楼は入母屋造の棟中央に方1間の入母屋造2階を載せ、全体本瓦葺。城郭風の外観が真宗寺院の象徴的な存在。手水舎は成の高い礎石上に角柱を四方転びに立て、内部は南に井戸、北に手水鉢を配す。簡素ながらも境内景観に欠かせない手水舎。山門は1間の薬医門。ケヤキの良材を用い、腕木や梁先端に流麗な絵様、墓股や笈形を彫刻で飾り華やかな門。小門は1間一戸の薬医門。小規模ながら本瓦葺の重厚な門。南面西塀は延長5・6メートル、切石積基礎に半間毎に柱を立て、腕木で軒を支える。西面南塀は延長12メートル、コンクリートブロック造の塀で屋根棧瓦葺。西面北塀は木造、延長14メートル。自然石積基礎で土台上に半間毎に柱を立て内側に控柱を付す。いずれも通りに面して寺院境内の歴史的景観をつくる。	建築物	住宅	1
119	善行寺(ぜんぎょうじ)本堂	奈良県橿原市	安政7(1860)／S12改修		建築物	宗教	2
120	善行寺客殿		M中期／H11改修		建築物	宗教	2
121	善行寺宝蔵		M9		建築物	宗教	1
122	善行寺鐘楼		天保10(1839)／S13改修		工作物	宗教	2
123	善行寺集会場		S4		建築物	宗教	1
124	善行寺太鼓楼		S30		建築物	宗教	1
125	善行寺手水舎		M中期		工作物	宗教	1
126	善行寺山門		寛政10(1798)		工作物	宗教	2
127	善行寺小門		S4／H10改修		工作物	宗教	1
128	善行寺南面西塀		S中期		工作物	宗教	1
129	善行寺西面南塀		S中期		工作物	宗教	1
130	善行寺西面北塀		S中期		工作物	宗教	1
131	榎家住宅主屋	和歌山県海南市	E末期／M24増築、H30改修		建築物	住宅	2
132	榎家住宅文庫蔵		M24		建築物	住宅	1
133	榎家住宅蘭蔵		S7		建築物	住宅	1
134	榎家住宅土蔵		M後期		建築物	住宅	1
135	榎家住宅納屋		S前期／S30代改修		建築物	住宅	1
136	養源寺本堂	和歌山県広川町	正徳3(1713)／S7改修	市街地の中心部に位置する日蓮宗寺院の本堂と大黒堂。本堂は寄棟造平入本瓦葺で向拝一間を付し、北東に入母屋造の玄関を接続、棟に鯉瓦を載せ古刹の風格を示す本堂。大黒堂は出世大黒天を安置する仏堂。東面する入母屋造平入本瓦葺で1間向拝を付す。向拝の木鼻や手挟など精緻な彫刻で飾る華やかな仏堂。	建築物	宗教	2
137	養源寺大黒堂		S7		建築物	宗教	2
138	久代(くしろ)家住宅主屋	鳥取県日南町	E後期／M後期・S前期・同30代・同44増築、H11改修	日野往来沿いの集落にある旧家の主屋と長屋門。主屋は平屋建て北東に角屋、南にナンドと台所を突出する。座敷は数寄屋風の意匠とし、大規模な主屋が地域の歴史的景観をつくる。長屋門は平屋建て外壁は漆喰塗、腰は簷子下見板張とする。座敷は床、床脇、平書院を備えた上質なつくり。大庄屋の格式を示す桁行長大な長屋門。	建築物	住宅	1
139	久代家住宅長屋門		M前期／H11改修		建築物	住宅	1
140	旧吉田村尋常高等小学校講堂(吉田町生涯学習交流館)	島根県雲南市	S12／H6移築	市街地中心部に位置する旧小学校講堂。平屋建切妻造で北に半切妻造玄関を張出す。内部はトラスを用いた無柱の大空間で天井を折上げ、飾縁で軽快にみせる。旧小学校の歴史を伝えるモダンな講堂。	建築物	学校	2
141	村井家住宅主屋(旧市村郵便局)	広島県尾道市	E末期／S4増築	旧出雲往来に東面して建つ旧郵便局を併設する主屋と土蔵。主屋は2階建ての町家の南側にアーチやメダリオンで飾った石造風外観の郵便局を付加する。洋風の郵便局を備えた外観が街道の賑わいを伝える。土蔵は2階建切妻造で置屋根形式の棧瓦葺で正面に下屋を付す。主屋と一体となって街道沿いの景観を形成する。	建築物	住宅	1
142	村井家住宅土蔵		E末期		建築物	住宅	1
143	岡藤家住宅主屋	山口県長門市	E中期／寛政10(1798)頃増築、S62改修	赤間ヶ関街道に北面して建つ造酒屋の屋敷。主屋の南方に離れ、茶室、土蔵、東側に御成門及び塀を配する。主屋は平屋建入母屋造で正面に下屋を付し、西寄りに戸口、東に出格子を構える。建ちが低く、間口長大な町家で、地域の歴史的な景観に寄与する。離れの洋室は南面に出窓を開き、天井に中心飾を付す。簡素ながら明るく瀟洒な洋室。茶室は北は切妻造、南は入母屋造で全体棧瓦葺とし、北に銅板葺下屋を付し、東に腰掛待合を配す。中庭の点景を構成する。土蔵は調度品の収蔵蔵。2階建て、外壁漆喰塗仕上で水切瓦を1段付け、腰に縦長に目地を切る。敷地南側の景観を形成する重厚な土蔵。御成門は通からやや引き込み建つ1間腕木門で東側に脇門を備える。塀とともに旧家の屋敷構えを整える。	建築物	住宅	1
144	岡藤家住宅離れ		T後期		建築物	住宅	2
145	岡藤家住宅茶室		S30頃		建築物	住宅	1
146	岡藤家住宅土蔵		M21頃		建築物	住宅	1
147	岡藤家住宅御成門及び塀		E後期		工作物	住宅	1

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	種別	基準
148	大正寺積翠庵茶室	福岡県北九州市	S46	皿倉山中腹の臨濟宗寺院に八幡茶道文化協会が寄進した修養用茶室と腰掛待合。茶室は平屋建切妻造桝瓦葺で南東に銅板葺庇を廻らす。円窓や火灯窓風の欄間など各室洗練された意匠で布基礎に色石をあしらう。腰掛待合は路地に北面して建つ平屋建片流造招屋根付。柱や桁、母屋に丸太を用いた数寄屋風のつくり。いずれも重森三玲作の露地と調和した腰掛待合。	建築物	宗教	2
149	大正寺積翠庵腰掛待合		S46頃		建築物	宗教	1
150	清恵(せいけい)庵	佐賀県佐賀市	S48	佐賀城跡の外堀に南面して建つ茶室。設計は堀口捨己と早川正夫。入側を介して堀に面する広間と茶室を配し、寄付に舟入への階段を付す。照明を組み込んだ掛込天井など、堀口の特徴を示す茶室。	建築物	文化福祉	2
151	旧親和銀行本店本館	長崎県佐世保市	S42／S44増築、H16・R4改修	佐世保駅から北西に延びる商店街に東面する銀行の店舗と旧電算機棟。本館はS42の「原爆堂計画」の造形を原型とする北半部と、S44増築のブロンズパネル貼の弓形構造体を立ち上げた南半部からなる独創的な外観意匠。白井晟一の代表作の1つ。懐霄館は旧電算機棟でS50。花崗岩貼で中央の長大なスリットに向かい壁面が湾曲する独特の造形。本館と一体で白井晟一の世界観を完成させた記念碑的作品。	建築物	産業3次	2
152	旧親和銀行本店懐霄館(かいしょうかん)		S50		建築物	産業3次	2
153	SEED1931(旧諫早銀行本店)	長崎県諫早市	S6／R6改修	市街地中心部の本町通りの角地に建つ、旧銀行本店店舗。ドリス式オーダーの列柱や軒飾による重厚な意匠で、内部吹抜にトスカナ式オーダーの円柱を立てる。古典様式の外観が街角景観をつくる銀行建築。現在は事務所及び飲食店として活用。	建築物	産業3次	2
154	木村家住宅主屋	熊本県熊本市	E後期／T後期・H3・R5改修	市街地南方の農村集落に位置する在御家人住宅の屋敷。敷地中央に南面して建つ主屋の南東に米蔵、北側にオモン蔵を配する。主屋は平屋建寄棟造で全体に乙型の棟をなす。ケヤキの1枚板の床板など、上質な座敷を備える。米蔵は2階建で、外壁は漆喰塗仕上で鯨子下見板を張る。敷地南東の景観をつくる大規模な土蔵。オモン蔵は納屋で2階建で外壁下見板張とする。軸部木太く、質実なつくり。	建築物	住宅	2
155	木村家住宅米蔵		文化8(1811)／R5改修		建築物	住宅	1
156	木村家住宅オモン蔵		安永4(1775)／R5改修		建築物	住宅	1
157	内藤家住宅主屋	熊本県熊本市	M14／M41・S35・R2改修	市街地南方の住宅地に位置する旧実業家の主屋。敷地中央に南面する2階建入母屋造で、正面西寄りに式台を設ける。南西庭に面する座敷は簡素ながらも堅実な設え。大型で建ちが高く上質な近代和風の主屋。	建築物	住宅	1
158	佐伯家住宅主屋	熊本県阿蘇市	M13／S50・R3改修	阿蘇外輪山の東側に位置する旧家の屋敷。主屋の南西に米蔵、北西に味噌蔵、敷地正面に長屋門、南東に門及び塀を配する。主屋は建ちの高い2階建一部3階建で、1・2階の座敷は床廻りに良材を用い、洗練した意匠。土間側の南半と全体の軒廻りを漆喰で塗込めた特異な外観が目惹く。米蔵は2階建で外壁は漆喰塗で南面は横板張、腰は堅板張とする。屋敷地の景観を担う大型の土蔵。味噌蔵は平屋建切妻造で正背面に下屋を付す。北室は味噌醬油蔵、南室は竈を設けた作業小屋風の蔵。長屋門は平屋建切妻造で背面に下屋を付し、ほか3方は庇を持送り、東端間を門口とする。旧家の表構えとして景観に寄与する。門は腕木門で、欄間に透彫彫刻を嵌める。塀は壁面はひしぎ竹の胴縁押え。敷地導入部を彩る繊細な門及び塀。	建築物	住宅	1
159	佐伯家住宅蔵		M前期／R3改修		建築物	住宅	1
160	佐伯家住宅味噌蔵		M前期／R3改修		建築物	住宅	1
161	佐伯家住宅長屋門		M前期／H4・R3改修		建築物	住宅	1
162	佐伯家住宅門及び塀		M前期		工作物	住宅	1
163	大麻(おおあさ)家住宅主屋(旧木葉(このは)郵便局)	熊本県玉東町	S12／S43・R元改修	三池往還沿いに位置する旧家の主屋。平屋建の南西に2階建を雁行して配し、1階は旧郵便局舎で外壁下見板張や縦長窓を留め、2階は端正な座敷を残す。昭和戦前の地域の繁栄を伝える。	建築物	住宅	1

注

建設年代:Eは江戸、Mは明治、Tは大正、Sは昭和、Hは平成、Rは令和の略。

種別:土木は土木構造物、工作物はその他工作物の略。

基準:1は国土の歴史的景観に寄与しているもの、2は造形の規範となっているもの、3は再現することが容易でないもの。